

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 . 背景

都市機能の集約を図る都市機能誘導区域の主要部は、高齢者を含む来訪者が安心して快適に移動できる空間であることが必要である。しかし医療施設や商業施設等の集積に伴い、自動車流入の集中し、多数の高齢者、買い物客等の往来が予想され、駐車場へ向かう自動車と歩行者との交錯による事故発生リスクが生じる。そのため、歩行者の移動上の利便性及び安全性の向上を図ることが求められていた。①

① 記述内容に指摘はないのですが、文章全体のバランスが悪いです。背景はもっと端的に述べ、概要に厚みを持たせると良いでしょう。

2 . 概要

立地適正化計画の都市機能誘導区域内に駐車場配置適正化区域を設定し、路外駐車場の配置の適正化と附置義務駐車施設の集約化を図る。②

② 区域の説明をするものではありませんか。「都市再生特別措置法に基づく駐車場の配置適正化に関する手引き」には、次のように定義されていますので、適切に要約すると良いでしょう。この概要を踏まえ、背景も再構築し内容の重複を避けましょう。

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ・歩行者交通が集中する区域の周辺に、集約駐車施設を配置することにより、区域内における歩行者と自動車の輻輳の軽減を図ることが可能となります。
- ・駐車場の出入口による歩道の分断箇所の減少により、安全・快適な歩行環境の創出が可能となります。
- ・自動車交通の減少により、バス等の公共交通機関の運行の円滑化が図られます。
- ・連続する街並みの形成及び土地の有効利用が図られます。